

地元の木材を家具に —大川で早生広葉樹「センダン」植樹会を開催—

協同組合福岡・大川家具工業会は、3月3日に八女市山陽町、6月3日に大川市酒見で早生広葉樹「センダン」の植樹会を開催しました。



植樹会は、両日合わせて、大川の家具関係者、地元の子どもら100人近くが参加。この植樹に参加した4～6歳の子どもたちが14～16年後に成人するころに成木となっている早生広葉樹「センダン」を伐採し、大川市内の木工所が机・椅子や棚などの製品に加工した後、子どもたちがお世話になった幼稚園・保育園や学校に寄贈することにしています。

このプロジェクトは、「早生広葉樹センダンを永続的に地元で育てることで、川上から川下までが一連に繋がり、木工産地大川のブランド

化を図ること」「近隣地域の森林事業者の方々とのパートナーシップを築き、循環型ビジネスの構築につなげていくこと」を目指し、工業会が主催しました。

工業会によると、九州で植林されるのは主にスギとヒノキで、伐採するまで最低でも約50年、家具の用材とする場合は60年以上の歳月が求められるそうです。しかし、センダンは、スギやヒノキに比べて成長が早く、15～20年で伐採期を迎えられ加工性も良いため、近年家具業界において注目されるようになったといいます。

家具のまち、大川市に植えられた木が子どもたちと成長し、その後、家具材にして生かしていく。夢のある素敵な取り組みが始まりました。



親子でセンダンの苗木を植樹

組合概要

組 合 名：協同組合福岡・大川家具工業会
代表理事：森田 慎一郎
所 在 地：大川市大字酒見221番地3
T E L：0944-87-2090
F A X：0944-88-2004
U R L：http://www.okawa.or.jp